

新庁舎建設は

松竹 秀樹 議員



災害発生時、市役所は大丈夫？

答 「はいわかりました」とはいかない

問 本庁舎の耐震診断はしたのか。また耐震に対する考え方はどうか。

企画財政課長 新庁舎の建築となると、多額の財源を必要とするので本庁舎の耐震の診断までに至っていない。耐震工事をを行うという想定のもとに耐震診断する。他の老朽化している施設を優先したい。見通しをつけた段階で、耐震工事ということも考えられるが、まだそこまで至っていない。

問 優先順位の話が出たが、庁舎より優先するのは何か。

企画財政課長 庁舎建設は他の公共施設の整備が終わっていることが市民の理解を得られる条件だ。当面はサザンクス筑後を年次計画的に改修していく。

地域における協働の意識向上とボランティア

問 公民館活動等の地域活動に対して、市では何か支援なり、協力ができることはないか。

地域支援課長 新しく住民になられる方には、転入時に「地域活動へ協力してください」と呼びかける啓発パンフレットを渡している。また地域の求めに応じて出前講座等で講師の派遣を行い、地域における意識を啓発していく。

発達障害者への支援体制づくりを

五十嵐 多喜子 議員

問 二次障害の防止など、早くから適切な支援が必要。今回3度目の質問だが、群馬県藤岡市は発見と子どもの特性を理解し対応出来る支援体制を作っているが筑後市では。

健康づくり課長 市では3歳児健診で臨床心理士により月平均、4〜5人を面接している。

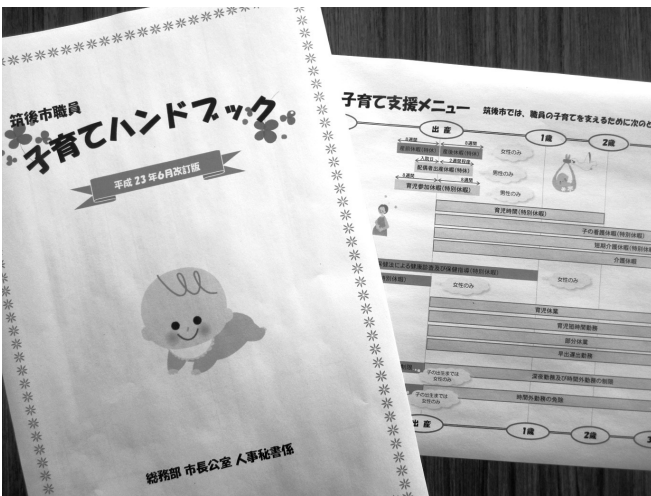
また、筑後市の6割の企業は子育て世代の、若い女性に支えられているが。

市長 市内では育児休業はとれている。一般企業ではなかなか浸透しない。松本副市長 市内では育児休業を取りやすいように男性も女性も産む、生

答 改正障害者基本法に発達障害者の定義が明確化

市のワークライフ・バランス策は

問 産み育てやすい環境とは言うものの不安を抱える要素ばかり。市の調べでは出産を機に離職した保護者の半数近くが「職場環境が整っていれば働き続けていた」と回答。行動計画の企業への働きかけは進んでいるか。



市職員向けの子育てハンドブック
子育て支援メニューなど分かりやすい内容